



2019年4月採用

## 新規採用職員からのメッセージ

県中農林事務所農業振興普及部地域農業推進課  
小松 一樹（畜産）



### ●現在の仕事の内容

農林事務所では、農業の担い手育成や経営支援、産地づくり等、農業の振興に関する業務を行っています。その中で私は、畜産農家を対象に、技術的支援や補助金の案内等、農家の方がより安定した経営ができるようサポートする業務を担当しています。

### ●県職員として働いて感じたこと

県職員として働いて、福島県の復興は道半ばであると感じることが多いです。特に畜産では、原発事故から約9年経過した現在でも、不自由な飼養管理を強いられており、さらに風評被害の問題が根強く残っています。しかし、そんな弊害に負けることなく、安全でよりよい生産物を提供しようと邁進されている農家の方の姿に日々力をいただいています。私も震災前を上回る魅力的な農業が実現できるよう、農家の方の活動を少しでもサポートしていきたいです。



### ●県職員を志望した理由

大学では農学部にも所属し、浪江町における原発事故に伴う鳥獣害の対策に関する研究を関係機関と連携して行っていました。その中で、他県出身で研究の中心となっていた方の福島県の復興を想う姿を見て、私も福島県の復興の力になりたいと強く感じ、福島県職員を志望しました。

### ●職場の雰囲気

私の職場は29人が所属しています。コミュニケーションの活発な職場で、すぐに馴染むことができました。仕事でわからないことがあったとき、誰にでも聞きやすく、丁寧に教えてもらっています。また、仕事以外の面でも人生の先輩として生活上の様々なアドバイスをいただけて、充実した毎日を過ごしています。

### ●試験の対策や情報の入手方法

教養試験は、得意な科目を中心に問題集を繰り返し解きました。専門に関しては、市販の参考書を中心に対策しました。大学の講義で用いたノートや資料を見直したこともよかったです。面接では、雰囲気慣れることが重要だと思ったので、大学の模擬面接等を活用しました。



### ●受験者へのメッセージ

進路を決めるとき、福島県の畜産復興の力になりたいと思うのと同時に将来への大きな不安がありました。そんな自分を支えてくれたのが、相談に乗ってくれた家族や同じ目標があった仲間たちの存在でした。皆さんも、周りの人を頼りながら「心身共に健康」を一番に頑張ってください。

皆さんとともに福島県のために働けることを心待ちにしています。